

FELLOWS! REFRESH!! ~大空と大地の国から 2005~

日時：2005年8月26（金）～28（日）☆会場：北海道茅場郡鹿部町

第13回全国アクトニュース

NO. 7 2005. 3. 16 第13回全国アクト実行委員会

ニュースへのリクエストやアクト関連の取組み報告などをお寄せください！

日本医労連 FAX:03-3875-6270 or E-mail : seinen@irouren.or.jp

*このニュースは各加盟組織と各県青年（分かる範囲で）に送っています。

~~ アクト事務局長の現地からの叫び!! ~~

みなさん、こんにちは、第13回アクトインサマーin 北海道実行委員会ならびに現地実行委員会でも事務局長の油石博敬です。現在、北海道（現地）実行委員会は、10単組31名で構成し、2/26・27に第3回目の現地実行委員会を終えたところです。



☆でしゃばったまねを…

僕の記憶が正しければ2002年11月の日本医労連青年代表者会議で、「石川の次は北海道で開催を！」と勝手にアピールし、全国の皆さんの理解、協力もあり、北海道開催が現実のものになったと記憶しています。北海道では石川の全国アクトが終わってすぐに、05年北海道開催に向けて2年越しで実行委員会体制を確立し取り組んでいこうと、実行委員の担い手はもちろんのこと、ブロックアクトや青年活動を通じ、そして何より交流を重視し、共に活動していく仲間を増やしてきました。



☆「アクト」効果は、すでに…!

現在全国アクトに向かって取り組んでいます、僕は「アクトの目的」はすでに半分以上クリアされていると感じています。なぜなら、ブロックアクトを通じて、地区協規模で交流を深め、実行委員会体制を結成、初めて実行委員会に参加した単組も今回をキッカケに単組での青年部結成をめざし、休止状態であった青年部を再建・始動、青年部の体制強化などなど。さらには！親組合の執行部あげての積極的な協力、支援もあり、青年活動の大きな活性化につながっていますし、組合自体も刺激を受けています。これだけでも「アクト」の効果はやはり素晴らしいことだと感じているところです。



☆1歩ずつ積み重ねるべし

「青年部とは何か?」「アクトとは何か?」の問いに、私たちはいつの時代も常に考え、その答えを少しずつ積み重ねています。現在しかない青年期、大いに楽しみ、学び、考え、仲間をつくり、元気よく活動しながらたくさんの方の事を吸収し、次世代につなげていけるよう、1歩ずつ大人の階段（別に深い意味はないです）を上っていきたいと思っています。



☆31個フル回転!…。笑顔で会いましょう!

今回の全国アクト現地実行委員長・西晴美さん(全日赤伊達)を先頭に、現地実行委員の少ない脳みそ(事務局長のだけ)をフル回転させ、テーマにそった企画と、この北海道アクトで全国の皆さんに「大きなキッカケをつかめる」ことをめざして、日本医労連青年委員のみなさんと共に創りあげていきたいと思っています。ぜひ、多くの仲間の皆さん、北海道鹿部町へ来て下さい。なんまらうまいもん(お口に合わなかったらゴメンナサイ。)そして素敵な出会い(皆さんしたい)が、あなたのことを待っています!

大空と大地の国、北海道の鹿部町で、みなさんの「笑顔」をお待ちしています!!

(第13回全国アクト実行委員会 & 現地実行委員会 油石博敬事務局長・北海道医労連専従)

